

IN-EI RAISAN

このたび、谷崎潤一郎の『陰翳礼讃』を原案とする短編映画『IN-EI RAISAN (陰翳礼讃)』の上映と、その世界観を表現した展覧会を開催する運びとなりました。『陰翳礼讃』はさまざまな言語に翻訳され、今や世界中の人々に読み継がれています。とりわけフランスで高い評価を得ています。パリに憧れ、映画の世界を夢見て渡欧した本作監督の高木は、そこで谷崎の『陰翳礼讃』と出会い、再び日本の文化に目を向けることになりました。構想5年、ここ両足院を含むオール京都ロケによる2年間の撮影を経て、日仏交流160周年の今年、パリ/京都2都市の芸術文化の架け橋となる「ニュー・ブランシュ」という祭典に合わせ、『IN-EI RAISAN』の初上映の機会をいただけたことを大変光栄に思います。

本映画の製作にあたっては、京都にゆかりのある芸術家、京の老舗の各社さまに多大なるご協力を賜りました。伝統文化のエッセンスを凝縮した映画と展覧会、じっくりとお楽しみいただければ幸いです。

主催者

STORYGENIC KYOTO とは

様々なメディアやイベント（文学、音楽、美術、映画、演劇、AI知能、インターネット、グルメ、観光、トラベルなど）を通して一つのストーリーを完成させる日本初のトランスメディア方式のプロジェクトです。

このたびの映画『IN-EI RAISAN』の上映会および展覧会の開催は、そのプロトタイプの一つであり、展覧会の展示構成は、映画のストーリーの前後の事象を暗示させるよう試みています。また映画の上映に際し、劇中の登場人物である「旅人」が会場内で朗読を行い、皆様を『IN-EI RAISAN』の世界にご案内します。

なお、会場内は撮影可能（※映像作品のみ撮影不可）となっています。皆様の日々の情景の一コマに「IN-EI RAISAN」の世界の住人たちを加えていただくことで、STORYGENIC KYOTOの物語はさらに広がっていきます。どうぞ皆様もこの両足院で、旅人が魅了された翳りの美を見つけてください。

SNS投稿の際はぜひ#storygenic を付けて投稿ください。

出品者・出演者プロフィール

会場 A（方丈）… 映画「IN-EI RAISAN」上映

会場 B（大書院）、会場 C（水月亭）、会場 D（臨池亭）… 作品展示

国木田彩良（くにきださいら）[A] モデル。1993年ロンドン生まれ、パリ育ち。日本人の母とイタリア人の父を持ち、明治時代の小説家・国木田独歩の玄孫にあたる。「VOGUE JAPAN」「ELLE JAPON」「L'OFFICIEL Japan」「婦人画報」「25ans」はじめ多数のファッションマガジンや「三越伊勢丹」「UNIQLO」の広告など幅広く活躍中。

林宗一郎（はやしそういちろう）[A] 観世流能楽師。1979年京都市生まれ。京観世五軒家のうち、唯一残る林家の十四代当主。父 十三世林喜右衛門、及び二十六世観世宗家 観世清和に師事。伝統芸能の普及活動に努め、歌舞伎とのコラボレーションや海外での公演も多数。京都を拠点に活動。

高木マレイ（たかきまレイ）[A,B] 映画監督/写真家。1982年兵庫県生まれ。フランス映画祭 in 神戸やラグジュアリーブランドなどのイベントプロデュース、神戸ファッション美術館クリエイティブ・ディレクター、神戸ファッションウィーク実行委員などを経て、写真家に転身。『IN-EI RAISAN (陰翳礼讃)』が初監督作品となる。

神郡宇敬（かみごおりうきょう）[A,B] 書家。1969年東京生まれ。父 神郡愛竹に書を学ぶ。2008年より京都在住。書道研究 温知会所属。

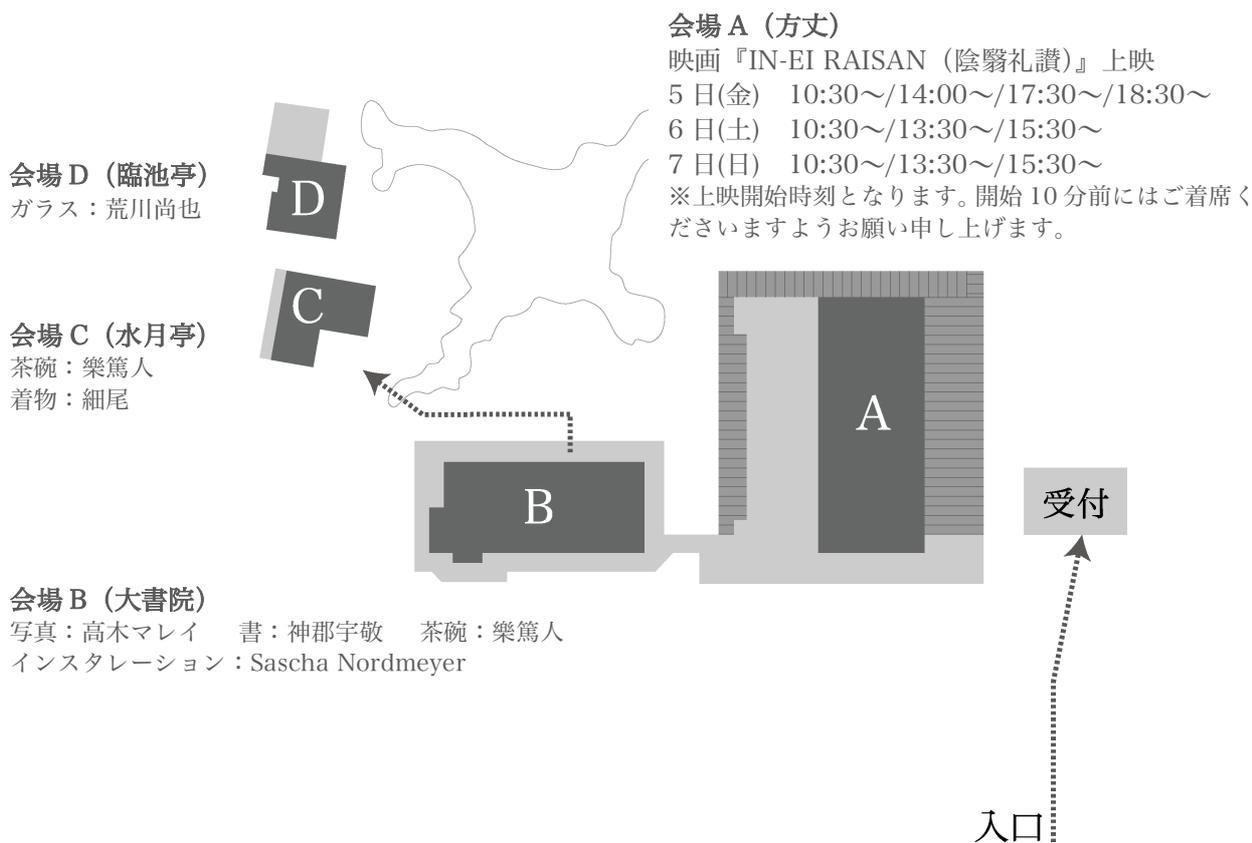
Sascha Nordmeyer（サッシャ・ノードメイヤー）[B] 造形作家/デザイナー。1977年生まれ。紙によるインスタレーションを通じ、空間、照明、動きというテーマを探究。2011年ニューヨーク近代美術館にて作品展示。2018年9月には2回目となる個展をGratadou-Intuiti ギャラリー（パリ）にて開催。

樂篤人（らくあつんど）[A,B,C] 樂家次代当主。1981年生まれ。15代樂吉左衛門の長男として生まれる。大学卒業後、イギリスに留学。帰国し、樂家の後継として作陶に入り、千家十職の次代として三千家に出仕する。2015年、カウンティ美術館（米）、エルミタージュ美術館、プーシキン美術館（露）で開催された「RAKU-茶碗の中の宇宙」展に出品。

株式会社 細尾（ほそお）[A,C] 西陣織（1200年の歴史をもつ京都の先染め織物）の老舗。元禄年間(1688年)、京都西陣において大寺院御用達の織屋として創業。現在は、帯やきものをはじめ、世界のラグジュアリーマーケットに向けた、西陣織による革新的なファブリックの開発に積極的に取り組んでいる。

荒川尚也（あらかわなおや）[A,D] ガラス作家。1953年京都市生まれ。北海道大学農学部卒業後、札幌の豊平ガラスに入社。吹きガラスの技術を学ぶ。81年に晴耕社ガラス工房を京都で開業。2010年ミラノサローネ ボッテガ・ヴェネタホームコレクションに選出。各地で個展多数開催。

会場案内



※ 展示作品にはお手を触れないようお願いいたします。
※ 会場の展示作品はご購入いただけます。会場スタッフにお声がけください。

映画『IN-EI RAISAN (陰翳礼讃)』 作品情報

作品名：『IN-EI RAISAN (陰翳礼讃)』

出演：国木田彩良 (茶人役)、高木マレイ (旅人役)、林宗一郎 (観世流能楽師)、伊藤東凌 (両足院副住職)、神郡宇敬 (書家)、他

音楽：森田玲 (篠笛)

■ 監督・脚本	高木マレイ
■ 撮影・編集	馬杉雅喜
■ 照明	合田崇
■ ヘアメイク (国木田彩良)	耕万理子 (SIGNO)
■ ヘアメイク (高木マレイ)	末田隆 (el sheart)
■ 茶事指導	住吉千波
■ 美術協力	旗邦充 (京こと)
■ スチール記録	宮下直樹
■ 進行	中山千富美
■ アドバイザー	たつみ都志 (谷崎潤一郎研究家)
■ プロデューサー	大谷賢太郎
◆ 製作	(株)トランスメディア・クリエイターズ
◆ 制作プロダクション	(株)シネマズギックス
◆ 協賛	ライカカメラジャパン(株)、(株)細尾、(株)寛永堂
◆ 特別協力	白沙村荘 橋本関雪記念館、両足院
◆ 協力	(株)いづう、藤岡酒造(株)、Gallery SUGATA
◆ 後援	芦屋市谷崎潤一郎記念館、アンスティチュ・フランセ関西
◆ メディア協力	web マガジン『ethica (エシカ)』

* web マガジン『ethica』にて、主演の国木田彩良さんのインタビュー記事掲載中！
今後も映画にまつわる様々な情報をお届けします。 <http://www.ethica.jp>